

ALLWRAP

オールラップ 施工マニュアル



H15.4.1 作成
H26.6.1 改訂

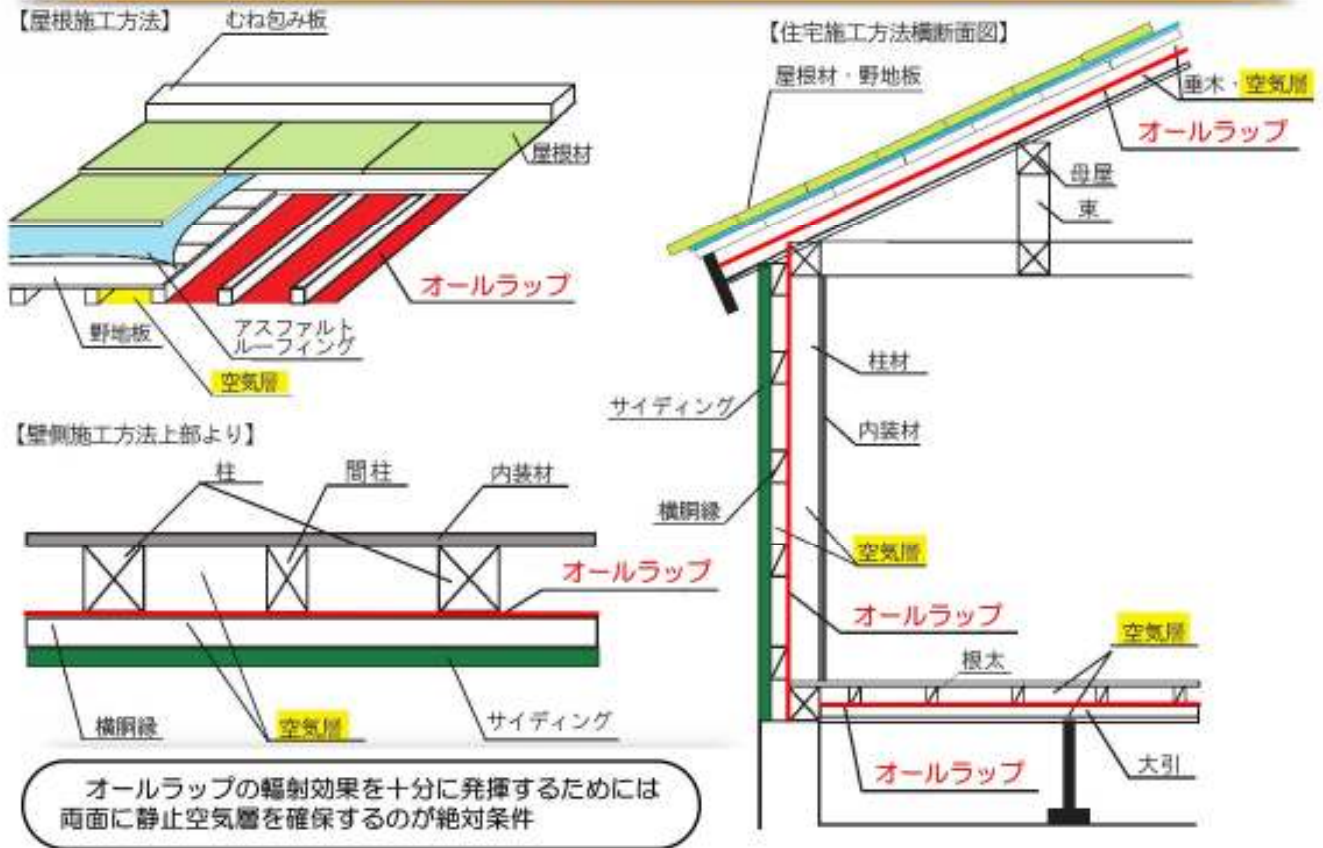
人と地球にやさしく 株式会社 **ホルス**

〒193-0826 東京都八王子市元八王子町 2-3333-2 TEL 042-629-9299 FAX 042-629-9298

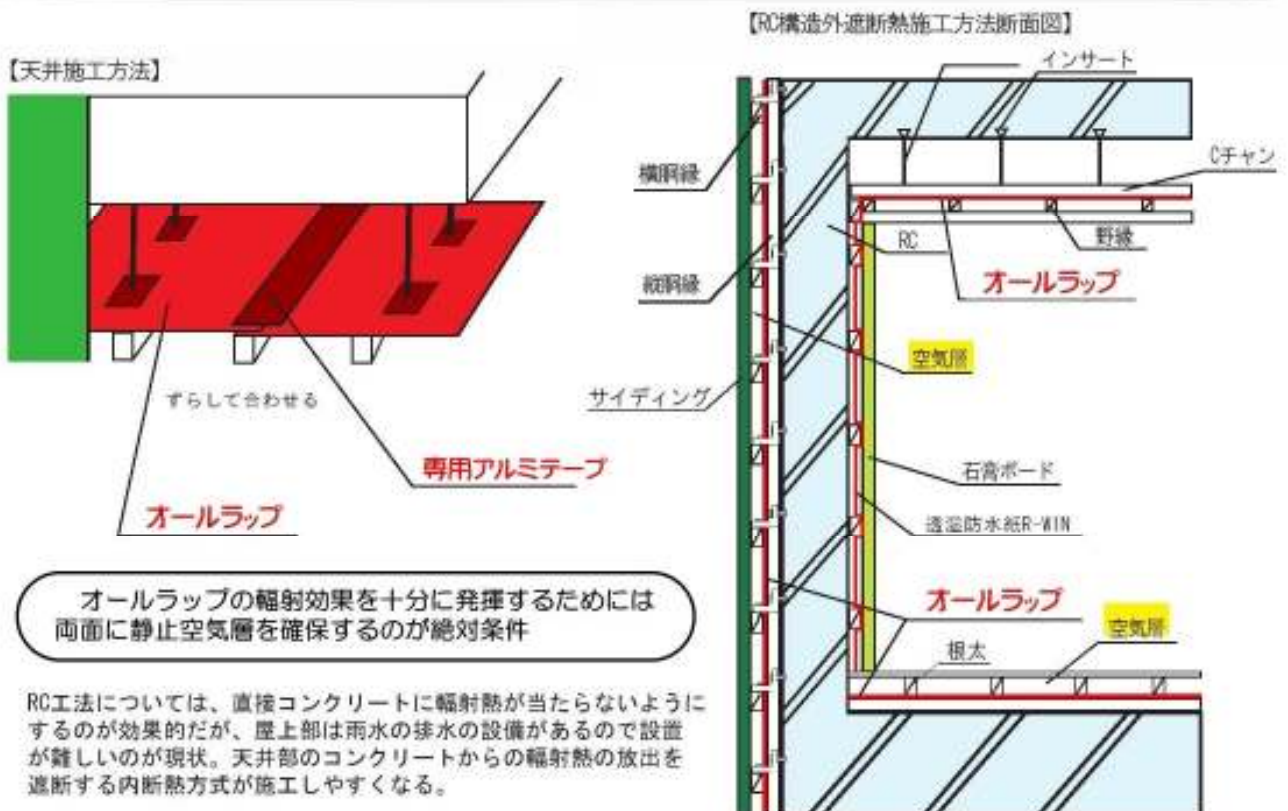
仕事ができる！ 家具・什器・エコ製品の専門店

<https://www.horus.co.jp>

オールラップ施行方法／木造住宅



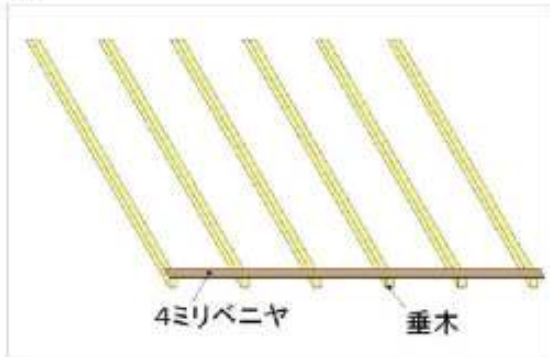
オールラップ施工方法／RC構造



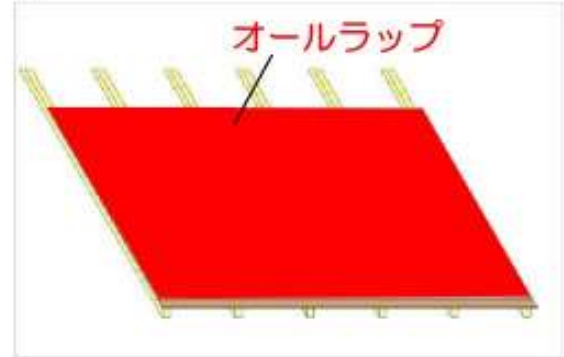
オールラップ 施工方法／屋根

I 屋根への施工（上下に空気層を確保してください）

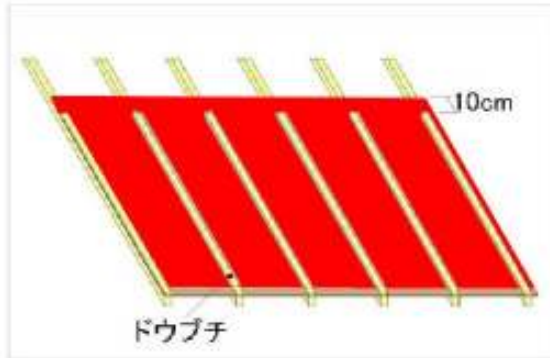
①



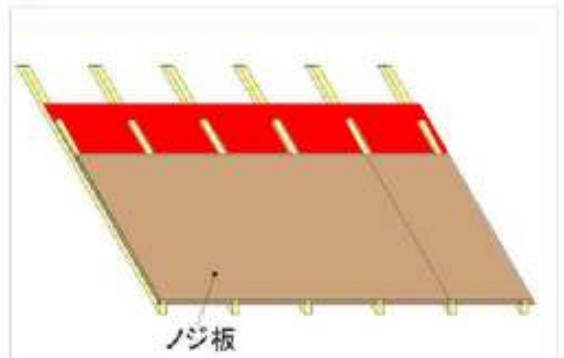
②



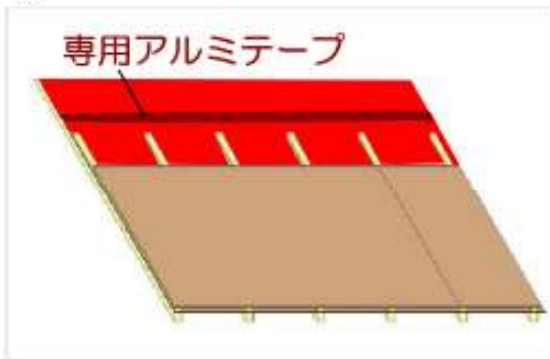
③



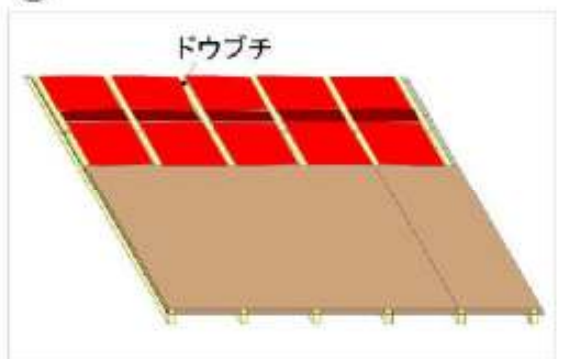
④



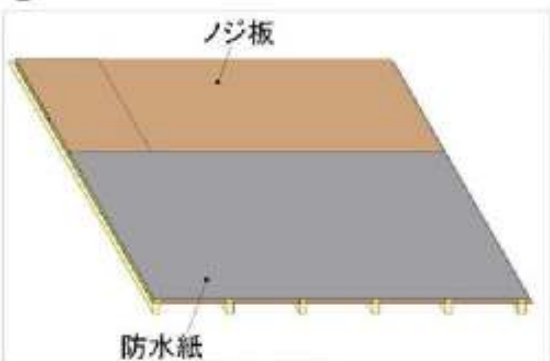
⑤



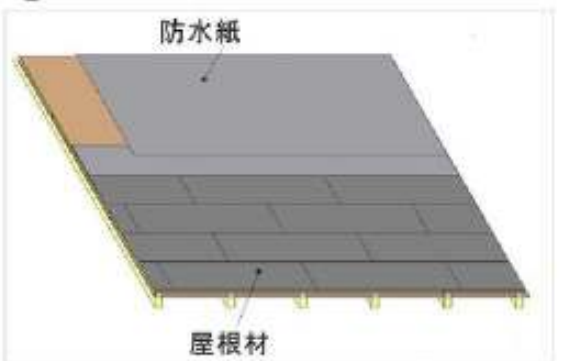
⑥



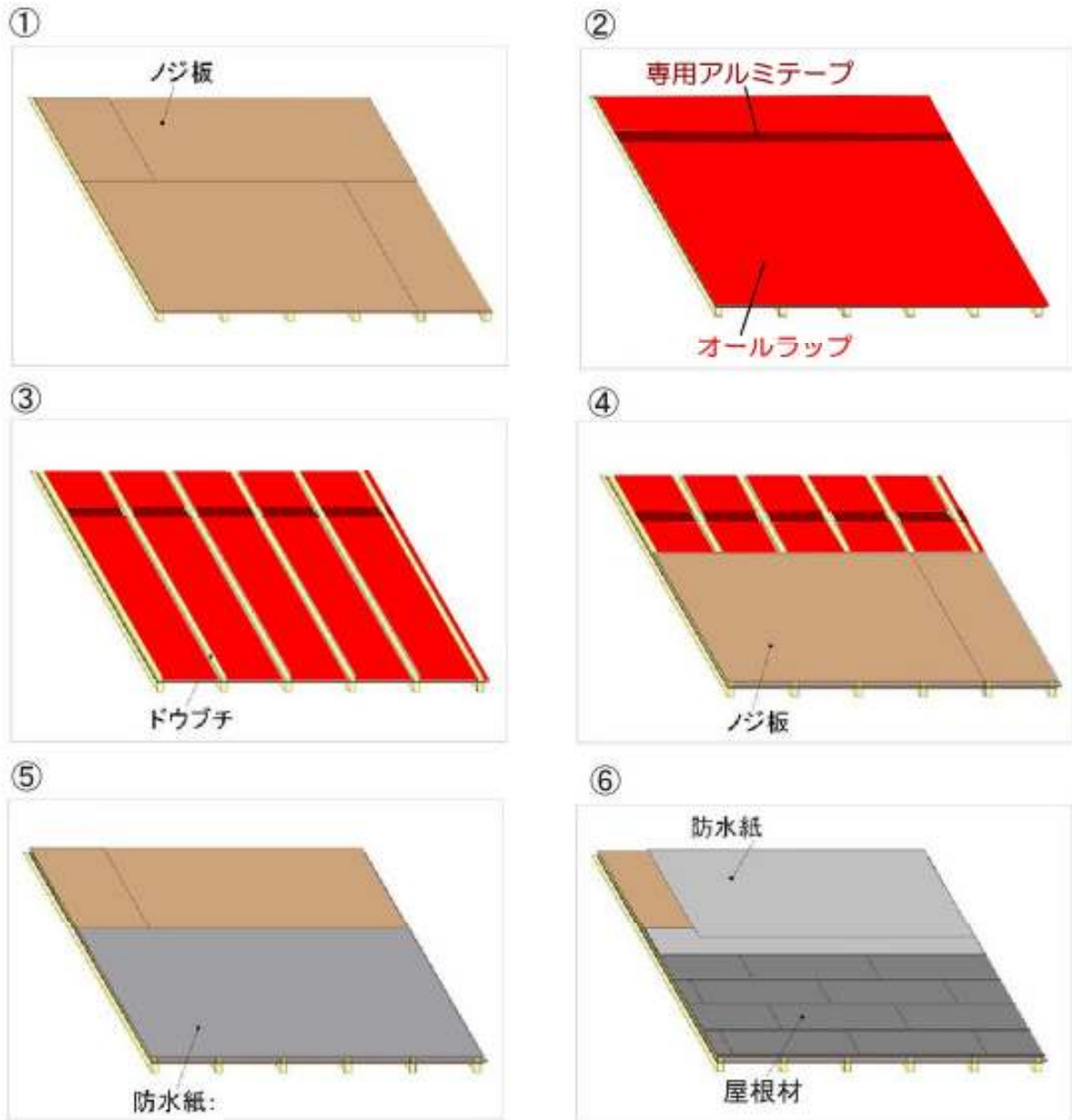
⑦



⑧



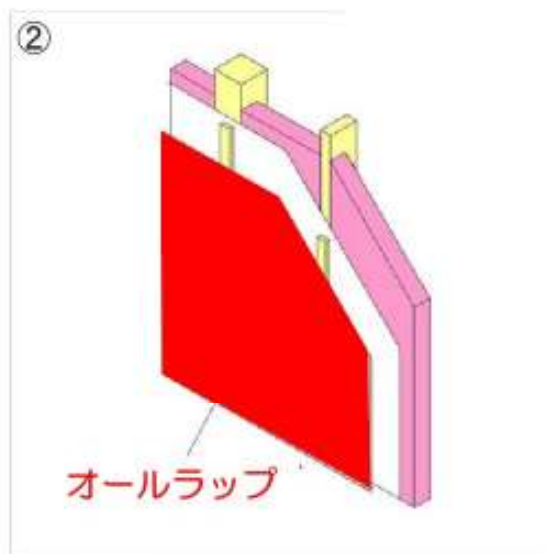
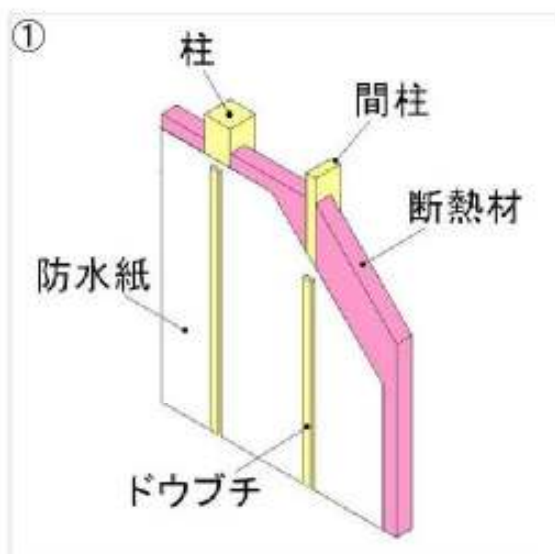
オールラップ施工方法／屋根 (固定が不安な場合の施行例)



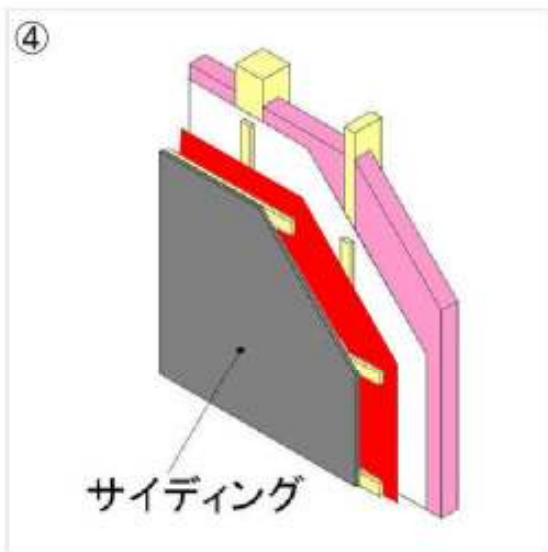
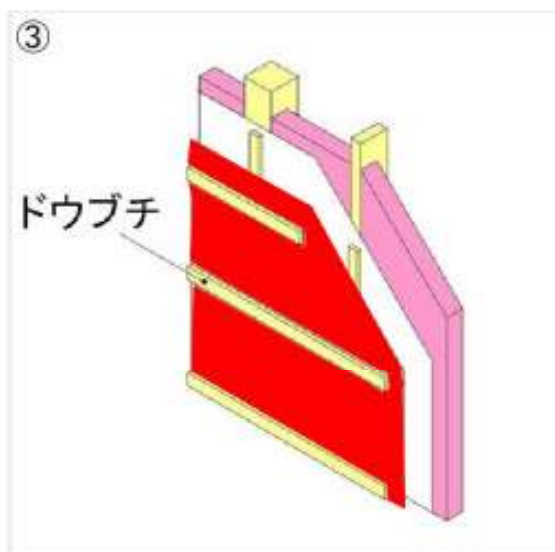
本来、遮熱材使用では両面に静止空気層を確保すると効果が高くなります。空気層は45～50mmを確保することで、空気の循環を抑制し対流熱及び伝導熱が移動するのを防ぎます。屋根への施行（その2）では下面にノジ板が接触するので下面からの伝導が懸念されますが、屋根上部からの輻射熱を防ぐ点で効果を上げることができます。

オールラップ施工方法／壁面

Ⅱ 壁面への施工



断熱材無しでの施工の場合、遮熱効果は問題ありませんが、防音効果が弱まるので立地条件・住環境を考えて設置ください。



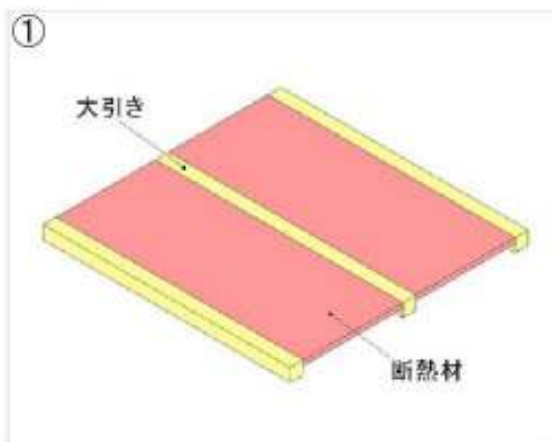
【注意事項】

壁面では、断熱材を使用されることが多くありますが、劣化すると下に垂れ下がったり、曲がったりするものがあります。

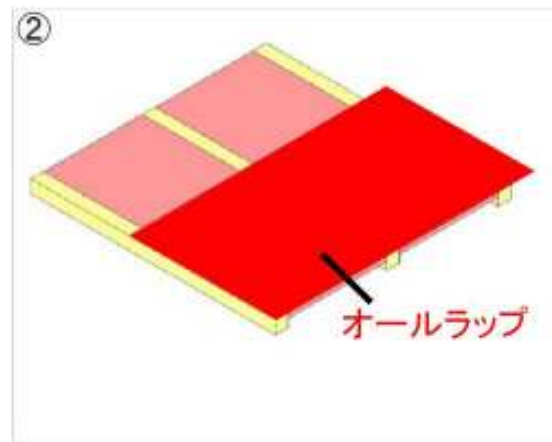
オールラップ は純アルミで劣化することはほぼありませんが、他の建材と多く接触すると、熱伝導が起こり性能が悪くなります。長期的に高性能を維持するため、断熱材使用は劣化しづらいもの、又は劣化しても形が崩れないものを使用してください。

オールラップ施工方法／床

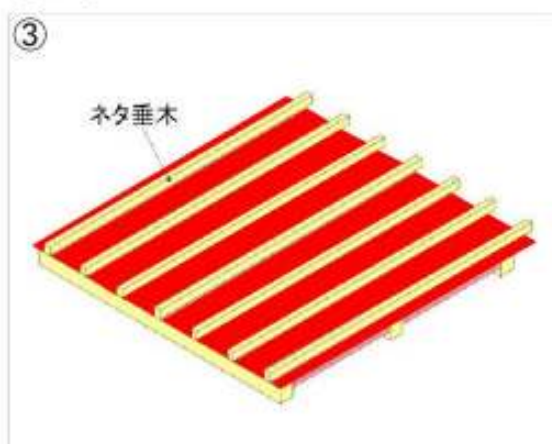
Ⅲ 床への施工



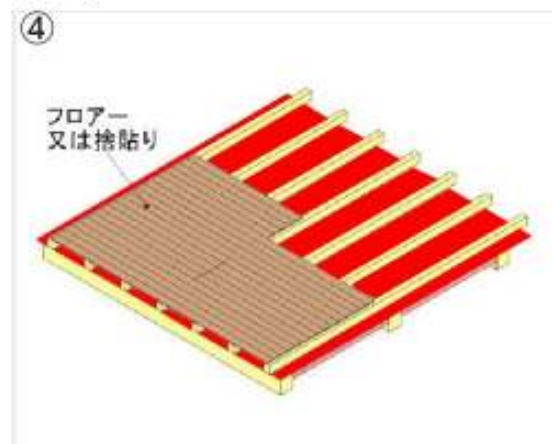
断熱材は必要があればお使いください。



タッカー等でしっかりと止めてください。



継ぎ目は10mm程度とり、
専用アルミテープでつなげてください



床材との隙間でしっかりと空気層をとるようにしてください。

【注意事項】

床下（オールラップ下側）への断熱材使用は、シロアリの巣になる危険性があります。また、床下からの輻射熱を和らげるものの、蓄熱効果があるので日が陰った後も熱を持ち続けることとなります。床上の断熱材使用の場合、室内への放熱効果があるので寒冷地での使用に適しています。ただし、断熱材が垂れ下がり、オールラップと接してしまうと熱を帯びて遮熱効果が弱くなってしまいます。両方を使用される場合は、必ず空気層が確保されるように施工してください。

オールラップ施工事例

◇一般家庭施工

家庭の外壁・屋根・床下への施工



◇店舗・倉庫施工

RC工法での施工



◇牛舎施工

畜産業者では家畜の健康管理のため施工



◇その他

エアコンの無いトイレ、ビニルハウス、海外でも

